



しょうじぐちよしひろ
5代目 小路口 欣弘

一雨ごとに春の訪れが感じられるこの頃、皆様におかれましてはお健やかに過ごしの事とお慶び申し上げます。最近休日に娘を連れて大仙公園に散歩に行ってきたのですが、早咲きのサクラのつぼみが一つ、二つと開きかけているのを見て、春の訪れがすぐ近くまで来ているなど感じました。

さて、先月大阪府石材組合青年部の活動で東京へ研修旅行に行ってきました。東京自体は何度も行っているのですが、ほとんどが勉強会や展示会への参加などでとんぼ返りの事が多く、今回初めて東京見物をして参りました。行ったところは靖国神社、日本銀行、国会議事堂、増上寺、スカイツリーなど有名なところばかりでした。その中でも特に心に残ったのは靖国神社の境内にある『遊就館』という展示施設でした。失礼ながら私は学生時代から歴史事に深い興味がなかったのですが、施設の中の今まで日本が関わってきた多くの戦争の記録や遺品の展示を見ている内に改めて自分の今生きている豊かな時代は多くの先人達の苦労無くしては有り得ないものだったと思い、感謝の念を深く胸に刻んで参りました。また、多くの兵隊さんの遺書には、どれも内容は自分の事は一切書かず、家族の心配をする思いやりに溢れたものばかりでした。国のため、家族のために生きる・・・当時から時代は大きく変化していますが人として生きることの真髄を見せて頂いたような気がします。

人に感謝し、人の為に生きる。先人達の築きあげてきた豊かな時代をより良く次の世代へ引き継いでいけるように、小さな会社なりに出来ることをやっていきたいと思っております。

3月には春のお彼岸がやって参ります。ぜひご家族皆様で日頃の感謝の気持ちをご報告などをしにお墓参りにお出掛け下さい。

最後になりましたが、旧年中はたくさんの皆様にお世話になり、誠にありがとうございました。本年も何卒よろしくお願い申し上げます。

小
路
口
石
材
通
信

一期一会

vol : 25
2013, 2, 20

↑高さ450mのスカイツリーの展望台からは富士山が綺麗に見えました！

お墓にまつわるエピソード集 ～お墓物語～

『お墓の前で』

70代 女性（神奈川県）

あなたのお墓参り体験談
大募集！



ご希望の方全員に
プレゼント致します。

『なかなかいいじゃないか』完成したお墓の前で夫は満足気に言った。『緑が多くて四季折々の花もきれいだ。歴史ある町だから観るところもたくさんあるし、来てくれる人も楽しいと思うよ』まるで自分がお参りに来るみたいなの口ぶりだ。私は思わず『あなたがお参りに来るわけではないのよ。そこまで考えるなんて・・・』笑ってしまいがら、なんて人のいい、楽天的なのだろうとなにやら明るい気分になった。小高い丘の中腹に位置する場所。晴れ渡った秋空に映える黒光りする墓石には、中央のすこし上に、〇〇家、右側に私の大好きなバラの花が、『ありがとう』の文字と一緒に彫り込まれている。墓石にデザインするなど、初めての体験に少し戸惑いはあったが、こんな経験は最初で最後なのだからと、夫と二人で楽しみながら考えた。完成したという連絡を受けた時は、家を建てたのとは違う現実に、何か覚悟のようなものが心をかすめた。その墓石の前で今まで味わったことのない安堵と温もりを感じている。

散歩がてらの墓地巡りをして二年。なかなか踏ん切りがつかなかったのは、立地条件もさることながら現実のこととして受け入れられなかったように思う。この辺で決めようと、夫は実行に移したが私はそれに従うしかなかった。一人娘に心配、気遣いになるべくさせたくないと思っている私たちにとって、お墓を建てるというのは親としての義務感みたいなものかも知れない。散骨、お墓のマンション、樹木葬などの話題を耳にするたびに、何がいいのかと迷ったが、最終的にはお墓を選んだことになる。

お盆やお彼岸にはいつも実家のお墓参りをしている。静かな墓地の砂利道をサクサクと歩いて両親、祖父母の眠るお墓の前に立った時、懐かしさに似た気持ちを抱くのは、生死を超えた人と人のつながりだろうか。『又、来るね』ホッと心を和ませ、墓地を後にした。私たちの心がいつの日か娘や孫に通じると信じて、これからのそれほど長くない日々を大切に、楽しく暮らしていきたいと願っている。

小 路 口 石 材 通 信

今月のお墓リフレッシュ活動記



墓所内 真砂土補充



before



after

墓所清掃サービス



before



after

御石塔移設・芝台新設工事



before



after

玉垣据え直し工事



before



after

仏石取替工事



before



after

墓所内防草土施工



after

発行元

しょうじぐち

小 路 口 石 材 工 業 株 式 会 社

〒591-8034 大阪府堺市北区百舌鳥陵南町1-13

ファクシール 0120-78-5461

HP <http://sakai-boseki.com>

BLOG <http://ameblo.jp/ring-of-happiness/>

〒591-8034

大阪府堺市北区百舌鳥陵南町1-13

fax 072-278-5463

e-mail info@sakai-boseki.com

小路口石材

検索

小 路 口 石 材 通 信



セギヤンが答えます！ ～Q&Aのコーナー～

第 5 回

Q:五輪塔のお墓って
どんな意味があるの？



こんにちは！ 皆さん元気にはしてはりますか？

さて第5回目、今回のお題は五輪塔（ごりんとう）について書かせてもらいます。はい、皆さん五輪塔と聞いてどんなお墓かピンと来ない方もおられると思います。まずは右下の写真で形を確認して下さい。

ああ～、見たことあるある～、という方がほとんどやと思います。そう、これが五輪塔です。この五輪塔というお墓は平安時代後期から鎌倉時代にかけて出来上がったと言われてます。生みの親は真言宗中興の祖、覚鑊上人（かくばんしょうにん）で、他の仏塔（宝塔や層塔）はインドを発祥の地として中国や朝鮮半島を経由して渡来してますが、この五輪塔だけは日本独自のものではないとも言われています。

そんな五輪塔の生まれる原理・理論となったのが『五輪九字明秘密釈』という覚鑊の代表作です。この本には真言密教の『即身成仏』と浄土の『極楽往生』の思想が融合されており、難しい説明は省略しますが要は『五輪のお墓に埋葬すると死者はみな成仏できる』という考えからこのような形のお墓が完成し、今日の日本人のお墓の考え方の基準ともなっているのです。



↑ 『五輪九字明秘密釈』の五輪塔図です。両界（胎蔵界・金剛界）の大日如来が三摩地（坐禅）をしている図で、五輪塔は即身成仏の姿であることを表しています。



← 石造の五輪塔の図です。上部から空輪（坐禅者の頭を表す）風輪（坐禅者の首にあたる）、火輪（坐禅者の心臓にあたる）、水輪（坐禅者のへそにあたる）、地輪（坐禅者の足にあたる）、というように左の五輪塔図のような坐禅の姿を表しています。また左図にもあるように五大種字（梵字）をそれぞれに刻むことで真言を唱えること（口密）を表しています。台石部分の反花（かえりばな）のような加工は多種多様ですので五輪塔のお墓を建てられる際の参考にして下さい。



↑ 現在の一般的な和型のお墓です

どうですか？ 普段耳にすることのない言葉だらけでなかなか理解するのは難しいと思いますけど、要は覚鑊という昔の偉いお坊さんが亡くなった人があの世で極楽へいけるように考えたお墓の形が五輪塔、ということなんですわ。（簡単にまとめすぎて怒られそうですね（^^））ちなみに現在のお墓は江戸時代後期から150年ほどかけて今の形に落ち着いてきたんやけど、元々は五輪塔の地輪の部分を縦に伸ばしたのが今のお墓の形になったと言われていることから、亡くなった方が成仏出来るというお墓としての意味自体は同じなんです。

また、この五輪塔のお墓は一般に真言宗の方が多く建てられてますが、他の宗派でも建てることに問題はありません。浄土真宗では五輪塔は建ててはいけないという説がありますが、お墓の形の自由という意味で言えば最近増えている洋型のお墓も意味は同じですし、要は家族が代々守って、お参りしつづけることが供養の本質ですからね。（お寺さんの指導があれば我々は逆らえませんが・・・）これが宗派よりお墓の形より何より一番大事なことです。

ほな今回はこれにて（^^）

皆さまのご質問、どしどしお待ちしております！

小 路 口 石 材 通 信

STAFFだより



こんにちは、専務の和弘です。最近は週末になると北西の風が強く寒さも厳しいのでなかなか釣りに行くことができず平日の夜に風のない日を選んで釣行しても全く魚が釣れませんでした。自分の腕は棚にあげて釣れないのは天候のせいにして自分を慰めております。さて、今回は仕事の話を書きたいと思います。普段は墓地でお墓の据付工事や建築工事を担当しております。景気低迷に伴い建築工事での石工事は減少していたのですが最近になり工務店さんなどからの見積依頼が増えてきましたので、景気が

が上むいてきたのではないかと感じております。しかし、10年ほど前はマンションのエントランス部分の壁、床の大理石貼りやビルの外壁は縦石貼りなんて工事もよくありましたが、近頃は高齢者向け住宅や介護施設などの浴室の面台やトイレの汚垂石(男性便器の下にある石です)などが多く、大きな工事はあまり無くなりました。墓石関係の仕事ですと新しくお墓を立てる割合が減少しリフォーム工事が増えてきました。通信でもご紹介している防草土への土の入れ替え工事や納骨室の改葬工事、花立石の穴の開け直しやステンレス製花筒への交換、花立の水抜き穴開け、戒名の追加彫刻などが多いように思います。戒名の追加彫刻とセットでさせて頂いているお墓の清掃作業では表面張力により溜まった水分による水垢の黒ずみの除去作業や線香立ての廻りにこびりついた灰の除去、文字内のペンキの入れ替え等普段のお墓参りでは行わない専門的な作業を行っております。当社オリジナルの「お墓参りに行こう」トレーナーで作業しておりますので通信の読者様からよくお声を掛けて頂き作業の励みにしております。

先日、日本石材産業協会主催の勉強会に参加いたしました。内容は地盤の専門家による地盤沈下や東日本大震災で世間を騒がせた液状化現象の原因と対策についてでした。今までは先人による経験や過去の実績により行ってきた工法を物理の計算で証明するような内容でした。いままでは基礎はとにかく見えない部分なので丁寧に、頑丈にと思い行っていた作業ですが、理屈が分かって行くと土地ごとの地盤に合わせたより効果的な工法で施工出来るので大変有意義な勉強会となりました。。石に関わる仕事をさせて頂いて10年弱になりますけどまだまだ勉強しなければいけないなと思いました。



こんにちは。深井将太です。まだまだ寒い日々が続きますがもう春がそこまで来ています。さて前回にも書かせて頂きました登山ですが今回は一風変わったものをご紹介します。先日、友人より「関西にもマチュピチュがあるで。」とおしえてもらい調べてみると兵庫県朝来市和田山町にある竹田城跡というのがわかりました。竹田城は今では石垣しか残っていないのですが、城が無いにも関わらず日本100名城



（56番）に選定されてしまう程のお城で、虎が臥せているように見えることから、別名「虎臥城」とも呼ばれているそうです。標高は353.7mとあまり高くはなく、最寄りのJR竹田駅から山頂までは約30分と手軽にチャレンジできるものだと思います。ペルーにある本当のマチュピチュは標高2400mなので高さは比べものにはならないのですが、雲海（朝霧）の上にそびえ立つ雰囲気はまさに「天空の城」と言われるほど壮大なものだと言われています。秋から冬、初春にかけてのよく晴れた早朝に朝霧が発生し、但馬地方の風物詩となっているそうです。しかし発生条件もなかなか厳しく次の3点が重要だそうです。

①日本海に高気圧の中心があり、よく晴れている。②朝方と日中の気温の差が大きい。③風が無い、または弱い。私自身もまだ行ったことがありませんので休みを利用してこの幻想的な風景を見に行きたいと考えています。

堺から約2時間30分で行くことのできる日本のマチュピチュに行ってみてはいかがでしょうか。

小 路 口 石 材 通 信